

オペレーションズリサーチ		講義	講師 竹内 芳衛
科目カテゴリー	経営・経済コースの選択必修科目	科目ナンバリング	23001103

1. 授業のねらい・概要

意思決定を科学的に支援する方法，つまりオペレーションズリサーチの手法の基本を学ぶ。

2. 授業の進め方

講義形式。

3. 授業計画

1. オペレーションズ・リサーチと社会の関係 2. AHP-階層化と一対比較 3. AHP-整合性と整合度 4. 線形計画法-線形計画問題 5. 線形計画法-シンプレックス法 6. 線形計画法-罰金法 7. 線形計画法-輸送問題 8. 線形計画法-双対問題	9. 在庫管理-経済発注量 10. 在庫管理-発注点法 11. 在庫管理-定期発注法 12. 金利計算-終価係数と原価係数 13. 金利計算-減債基金係数 14. 金利計算-資本回収係数 15. まとめ
---	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書の該当する部分に目を通しておくこと（各回1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

標準解答若しくは解説を提示し，又は本人解答を返却する。

6. 授業における学修の到達目標

- オペレーションズリサーチの考え方の基礎を理解できるようになる。
- オペレーションズリサーチの基本的な手法を扱うことができるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の点数（80～100%）と平素の活動状況（0～20%）で評価する。

8. テキスト・参考文献

加藤豊&加藤理. はじめてのオペレーションズ・リサーチ. 森北出版, 2018。

9. 受講上の留意事項

「学修時間が63.0未満」と担当教員が判断した履修者は，定期試験を受けられない。

出席1回につき学修時間6.0を算入する。ただし，算入する学修時間を3.0～6.0とすることがある。

欠席は，「欠席後最初の出席時まで欠席届が提出された場合」に限り，学修時間0.0～2.5を算入することがある。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。